

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛知県青い鳥医療療育センター		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年3月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職(リハビリ職員等)との連携が図りやすく、多職種での支援を行うことができる。	・リハビリ担当者に、リハビリでの様子や状況等を確認し訪問支援に繋げるようにしている。	・センター内の委員会(地域療育)等で、情報共有に努めている。
2	・どんぐり園(通園部)児の希望が多いため、療育出席時に保護者と情報交換を行っている。	・支援プログラム作成時に、どんぐり園での状況を確認している。	・関係機関や関係支援者との情報共有を行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先への自己評価がスムーズにできなかった。	・訪問先に評価の趣旨等が説明できていなかった。 ・訪問先および事業所職員が評価についての意識が低かった。	・訪問先、事業所職員が評価の趣旨と内容を理解する。 ・新しく訪問担当になる職員へ、訪問支援について目的等を伝える。
2			
3			